

「その方にとっての最善の看護ですか」 を問いかけながら

看護部長 丹沢早苗



この度、7月1日付で看護部長を拝命いたしました丹沢早苗です。歴史があり、多くの職員や地域住民のかたがたに愛されてきたこの病院の看護部長に就任したことは大変光栄に思います。しかし、同時にその責務の重さに身が引き締まる思いがいたします。

山梨厚生病院は“やさしく 親切 ていねいに”の理念のもと、地域医療の中心的な役割として、地域住民一人一人の最適健康状態を生み出すように援助する働きができるために全力をつくしています。常に、笑顔でぬくもりのあるやさしい看護、その人らしく生きることを支える親切な看護、満足していただけるていねいな看護の提供を看護部の理念として掲げ、日々努力しております。

自然の笑顔は人の励ましになり、勇気になり、支えになるやさしさを生みます。親切は全てに手を貸すことではなく、時には見守り、時には全身でその人らしさを尊重し、支えることです。大切な時間や空間あるいは多くの人々と共に、一つひとつていねいに看護を提供し満足いただけるようにしたいと考えます。

看護部は管理者から新入職員に至るまで教育体系を確立し、専門職として自律できる人材育成に力を入れております。その過程では「個」に沿った教育を行い、他者と比較することなくのびのびと成長できるように考えております。教育があってこそ、常に「その方にとっての最善の看護」が考えられるのです。患者様やご家族様と接する中でこのフレーズが職員一人ひとりの頭の中に浮かぶように努力していきます。

最善の看護ができる上での基本であり、私が大切にしていることは「コミュニケーション」です。言葉で伝え、傾聴し、理解しているかを言葉で確認することです。仲間や上司・部下とのコミュニケーションを十分に行うことで、必ず前向きな発言ができるようになっていきます。お互いを理解することや意思決定能力も向上すると考えています。これらは全て、患者様や自分のためなのです。そして“笑顔”です。

私たちは、歴史を大切にしていくなかで、それだけに縛られることなく、時には斬新に物事を考えなければなりません。漫然と同じことを繰り返すだけでは発展はありません。常に“イノベーション”を見据えながら前に進みたいと思います。そこには、たくさんの仲間の力が必要不可欠です。共に英知を育み、成長できる病院・看護部になれるよう真摯に取り組んでいきたいと思っております。

最後になりますが、国の施策により病院機能も大きく変化する時代に突入します。看護は何をしなければならぬのかをしっかりと見据え、考えていきたいと思っております。4月には山梨厚生会も公益財団法人となり、より一層地域・社会のために貢献しなければなりません。そのような中、まだまだ微力ですが、諸先輩がたの偉大な功績を受け継ぎ山梨厚生病院の発展の充実のために専心努力していきます。

緩和ケア外来のご紹介

緩和ケア認定看護師 矢澤 恵理

当院では2014年10月より緩和ケア外来を開設しました。緩和ケアの対象は、“末期がんの患者様だけ”と誤解されていることも多いようですが、決してそうではありません。緩和ケアの対象は、身体やこころの「つらさ」を抱えていらっしゃる患者様とご家族になります。医学的な側面に限らず、色々な場面で幅広い対応をし、自分らしく過ごせるようにがんと診断されたその時から、がん治療と並行して緩和ケアが始まります。以前は、「がんに対する治療」に関心が向けられ、患者様の「つらさ」に十分な対応ができていなかったかもしれません。しかし、緩和ケアは、痛みやだるさ、吐き気などの『身体的な苦痛』不安や心配などの『こころの苦痛』を包括的に支援し、「その人らしさ」を大切に生活していくことができるようサポートしていく医療です。



緩和ケア外来は、通院中の患者様に対して、緩和ケアチームの医師と緩和ケア認定看護師が行う外来です。定期的または、必要に応じて受診することで、あらゆる苦痛を軽減できます。

緩和ケアチームにはさまざまな職種のメンバーが関与し、色々な角度から少しでもお役に立てるよう主治医や関連部署と連携をとり、患者様とご家族のサポートを行っていきます。

緩和ケア外来の診療は、担当医から勧められることもありますが、患者様やご家族から希望することもできるので、身体やこころの「つらさ」を抱えていらっしゃる場合は、我慢しないで緩和ケアを受けましょう。

<緩和ケア外来の診察内容>

- ・痛みや吐き気、呼吸の苦しさ、だるさなどの身体的な苦痛の緩和
- ・心の落ち込みやイライラ、不眠などの精神的な苦痛の緩和
- ・仕事の心配や経済的な悩みなどのご相談
- ・在宅療養（在宅緩和ケア）や緩和ケア病棟などの療養についてのご相談



<診療日 / 時間>

日 時：毎週火・木曜日 午前10：00～12：00 午後14：00～15：30
場 所：2号館地下「緩和ケア外来・緩和ケア支援室」

<外来受診・予約方法>

- ・外来診療は完全予約制です。
- ・当院に通中の方は、主治医また看護師に「緩和ケア外来を受診したい」とお申し出ください。緩和ケア外来受診の手続きをいたします。
- ・他院に通中の方もかりつけ主治医にご相談ください。かかりつけの医療機関から「当院病診連携室」へご連絡いただき、緩和ケア外来の予約手続きをさせていただきます。

お問い合わせ：山梨厚生病院 病診連携室 電話番号 0553-23-1331

働くお母さん応援隊

～ 子どもたちの健やかな成長・発達を願って ～

主任保育士 中村 寿美江



昭和 39 年に設立された当院の院内保育所は今年で 50 年目の節目を迎え、この度新しい施設が出来上がりました。現在、0 歳～3 歳までの子どもたちが約 20 名在籍しており、日々楽しく過ごしています。

この院内保育所は、当院に勤めている子育て中の看護師さんたちが安心して働けるようにと“働くお母さん”のお手伝いをする目的で設立されました。

“子どもたちを健康で安全に育てて欲しい”という病院の考えに沿って、これまでにたくさんの子どもたちの成長を見守ってきました。

今回、新施設への移転を機に、乳幼児クラス（0 歳～1 歳 6 ヶ月までの子どもが活動する『ひよこ組』）と、幼児クラス（1 歳 6 ヶ月～3 歳までの子どもが活動する『りす組』）の 2 クラスしかなかったクラス分けを、もう 1 クラス増やした 3 クラスにし、新体制で保育をしたいと考えています。月齢や年齢、一人ひとりの成長や発達に合わせたクラス分けをすることで、今まで以上に子どもたちの細部まで見守ることができ、子どもたちに寄り添った保育ができると思います。



新しい保育所には、整備されたきれいな庭や大きな屋根のついた広いベランダがあり、今までよりもさらにのびのび活動ができるようになりました。子どもたち用のトイレ設備も整備され、排泄トレーニングもより積極的に行なえる環境になっています。

この新しい施設で子どもたちが日々を楽しく快適に過ごせるように、私たち保育士一同、環境設定に気を配って一人ひとりの成長・発達に合った遊びを提案できるようにしたいと考えます。そして何より、安心して安全な毎日を送れるように心がけていきたいと思ひます。

また、新施設の設置に伴い、病児・病後児のための保育室『ひまわり』も新しい施設へと移ることとなりました。『ひまわり』は、平成 19 年に山梨市からの委託を受け、保育所の一部を改築してできた施設です。こちらも、“働くお母さん”にとって、いまや無くてはならない強い味方となっています。新施設の 2 部屋ある病児室（安静室）は、行き来ができないように区切られており、各部屋にトイレや洗面台が完備されています。病名の違うお子さんたちが同時に使用しても絶対に交わることがなく、感染等の心配はありません。具合の悪いお子さんや、病後の回復期にあるお子さんがゆっくり過ごせるよう、保育を実践していきたいと思ひます。



新しい施設で心機一転。院内保育所と病児・病後児保育『ひまわり』の 2 本柱で、保育所はこれからもお母さん方のニーズに応えられるように努力し、“働くお母さん”を応援していきます！！

より子スマイルコンサートを終えて

HPT 主任看護師 佐野里美

平成 26 年 2 月、やさしく 親切 ていねいに の理念のもとに、すべての人々が満足できる接遇向上を目指し、HPT(ホスピタリティ・プロジェクト・チーム)が発足しました。去る 9 月 9 日には、患者様に楽しいひと時を過ごしていただこうと、病院職員が全員で協力して、HPT初の試みとなる院内コンサートを企画し実施いたしました。プロジェクトへのご支援をいただき改めまして職員のみなさまに心より厚くお礼申し上げます。



今回はシンガーソングライターのより子さんにおいでいただき、「より子スマイルコンサート」を開催しました。入院患者様はもちろん、外来患者様やご家族様など、200 名を超える本当にたくさんの方々にご来場いただきました。より子さんの美しい歌声を、会場の全員が深く聴き入り、演奏終了後には大きな拍手が沸き起こりました。まさに会場が一体となり、やさしい音色に心落ちつく時間となりました。

また、より子さんからは、「闘病中は体を起こして座っているだけでもしんどかったりしますが、患者さんの皆さんは大丈夫でしたか？一緒に歌ったり手拍子して盛り上げてくれたり、音楽を楽しみあえたことがすごく幸せでした。病院の皆さんが一丸となってコンサートを開いてくれた気持ちや、私を歌わせてくれました。」とのお言葉をいただき、イベントも盛大かつ有意義に無事幕を閉じることができました。

HPTは、今回のコンサートの次のステップに進むべく、正面玄関での患者様お出迎え活動など、全ての方々に満足していただける病院を目指し活動していきたいと思えます。今後ともHPTをよろしく願いいたします。

